

九州大学 工学部

2026 CAMPUS GUIDE

Department of Architecture





九州大学大学院工学研究院長
大学院工学府長・工学部長
田中 将己

Profile

専門は結晶塑性学、金属をはじめとする結晶塑性材料の変形や破壊を支配する機構を研究している。

九州大学工学部で世界に羽ばたく専門力を培いませんか

九州大学工学部は2021年（令和3年）に学科改組と入試制度改革を行いました。専門性に合わせて複数の学科を束ねて構成した5つの学科群（Ⅰ～Ⅴ群）に入学後の1年間の学びを経て専門を決定できるⅥ群を加え、従来の筆記試験により学科群ごとに選抜を行う一般選抜、および各学科が修学に必要とする適性を学力だけでなく意欲や関心なども含めて総合的に判断して学科ごとに選抜を行う総合型選抜により入試を実施しています。また、学部の新設4年間に大学院修士課程2年間を加えた6年間の一貫した教育プログラムを新たに整備し、情報技術教育を基盤として、急速に進展する工学・情報分野の発展や社会の変化に対応できる人材を育成する体制を整えています。さらに総合型選抜入試において、2027年度入試（2026年度実施）入試から一部の学科で新たに学校推薦型選抜

や女子枠、次世代研究者発掘入試の導入を予定しており、多様な学生を受け入れる準備をしています。こうした取り組みは、九州大学全体で掲げる「総合知で社会変革を牽引する大学」というVISION2030とも連動しています。九州大学工学部は、これからも教育や研究をさらに発展させるとともに、世界と協働しながら新しい社会の課題に挑戦し続けていきます。

さて、九州大学は1911年（明治44年）に九州帝国大学工科大学として福岡市東区箱崎の地に創立され、1919年（大正8年）に九州帝国大学工学部、1947年（昭和22年）に九州大学工学部となり現在に至っています。この間、西日本の拠点大学として先導的な教育と研究を担い、これまで多数の卒業生を輩出してきました。卒業生の多くは国内外で先導的、指導的な立場として活躍されてきています。2024年に

は、企業の人事担当者から見た大学イメージ調査ランキングにおいて京都大学に次ぐ総合2位の評価を得ました。

九州大学工学部は、カリキュラムでされている教育や研究室での先端的な研究活動を行っていることはもちろん、学生の自主的なものづくり活動のための創造工房への支援を行うとともに、北米と豪州への工学部独自の学生派遣・研修プログラム、英語授業のみでカリキュラムが構成されている学部国際コース、起業精神を育むアントレプレナーシップ教育プログラムなど、学生の自主的な学びを支援する多くのプログラムを備えています。さらに九州大学は、総合大学として様々な学問分野からなる教職員とそれらを学ぶ学生が学内外で多くの活動を実践しており、多様な学びと経験の機会が豊富にあります。九州大学工学部に入学し、さらなる飛躍のチャンスを掴みましょう。

110年の歴史と伝統、そして工学未来の新たな歴史を刻む。

1911年（明治44年）に創立された九州帝国大学工科大学が、工学部の起源です。約110年の歴史と伝統を有する工学部は、戦前、戦後を通して、鉄道・土木・通信などの交通通信分野や鉱山・製鉄・造船・航空・機械製作・化学・繊維などの日本の礎となる基盤産業に多数の人材を輩出し、日本の発展を支えてきました。

1911年の発足以降、工学部は長きに渡って箱崎キャンパス（福岡市東区）に教育研究施設を置いてきましたが、大学のキャンパス移転構想の第一陣として2005年（平成17年）10月から伊都キャンパス（福岡市西区）へ移転を開始し、2007年（平成19年）3月には建築学科を除く5つの学科が移転を完了しました。また、建築学科も2018年9月には、移転を完了しました。

自然豊かな広大な敷地の中に世界的にも最先端の施設や設備を有する伊都キャンパスは、工学部のこれから100年先につながる新たな歴史を刻む学び舎として皆さんを迎えてくれます。



▲1914年（大正3年）九州帝国大学工科大学正面



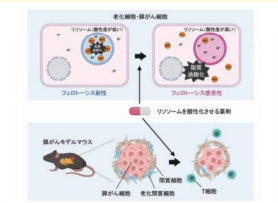
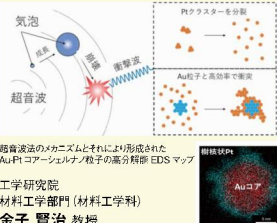
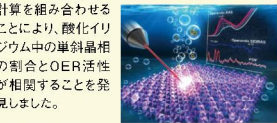
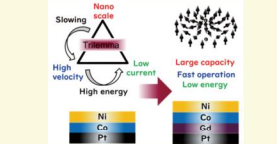
九州帝国大学工学部銘板
1919年（大正8年）前身である工科大学が工学部と改称された際に製作されたと考えられる銘板。戦時中、多くの金属製銘板が戦時供出された中、現存する貴重な銘板。2017年10月、工学部同窓会の基金により本銘板のレプリカのモニュメント（記念碑）を伊都キャンパスウエスト4号館横に建立。



CONTENTS

2025年度研究成果ハイライト	03
工学部構成・定員と入学から卒業・修了までの流れ	05
座談会	07
電気情報工学科	11
材料工学科	12
応用化学科	13
化学工学科	14
融合基礎工学科	15
機械工学科	16
航空宇宙工学科	17
量子物理工学科	18
船舶海洋工学科	19
地球資源システム工学科	20
土木工学科	21
建築学科	22
Ⅴ群紹介	23
大学院のススメ	24
Welcome message	25
OB・OGメッセージ	26
留学プログラム	27
サークル紹介	28
入試情報	29
工学部サイト情報	30

研究成果ピックアップ

PICKUP 老化した細胞が 鉄で死なない仕組みを解明 ～リソソームの酸性度が細胞死の鍵を握る～ 本研究グループは、細胞内のリソソームの機能がフェロトキシの誘導に重要な役割を果たすことを明らかにしました。老化細胞ではリソソームの酸性度を保つV-ATPaseというタンパク質複合体の機能が低下しているためにリソソーム内部が中性に近くなり、これにより2価鉄イオン(Fe²⁺)がリソソームに留まることで、フェロトキシの原因となる脂質過酸化反応が細胞全体で生じにくくなることを発見しました。そして、リソソームを酸性化させる薬剤を処置した老化細胞は、フェロトキシを引き起こしやすくなることを明らかにしました。  工学研究院 機械工學部門(機械工学科) 佐久間 臣耶 准教授/山西 陽子 教授	PICKUP ナノ触媒の可能性を解き放つ ～簡単な超音波処理が水浄化を変える～ 超音波処理による複雑なナノ構造の形成過程を解明するために、高性能な走査型透過電子顕微鏡(STEM)を用いて、金(Au)をコアとし、白金(Pt)の樹枝状ナノ粒子がシェルとして形成される機構を明らかにしました。興味深いことに、超音波処理を行わなくても薄いPt層は形成されますが、特徴的な樹枝状構造は超音波処理によってのみ現れることを確認しています。 この超音波処理法は、水系環境で実施可能でエネルギー効率が高く、スケーラブルな製造にも適しているという利点があります。また、得られた樹枝状ナノ粒子は高い表面積と豊富な活性点を持ち、水中の有機汚染物質の分解に有効な触媒として、環境浄化技術への応用が期待されます。  工学研究院 材料工學部門(材料工学科) 金子 賢治 教授	PICKUP マルチモーダル解析で酸素発生反応(OER)の鍵を握る “活性点”を特定: 酸化イリジウム触媒の構造が高性能の秘密を握る ～水電解によるグリーン水素社会実現へ新たな一歩～ 再生可能エネルギー由来の電力を利用した水電解によるグリーン水素の製造は、カーボンニュートラルへ向けたエネルギーシステムの中で重要な役割を果たします。固体高分子水電解は高効率で高純度な水素製造法であり、酸素発生反応(OER)の触媒の特性がさらなる効率向上に重要です。OER触媒にはイリジウムを含む酸化化合物が用いられていますが、階層構造を持つ電極表面の反応は複雑な要因によって支配されるため、これまでその特性が何によって決まっているかが不明であり、開発の指針を決めるのが困難な状況でした。今回、このような階層構造における要因解析を進めるため、複数の高度解析手法を組み合わせたマルチモーダル解析により、活性点の同定に成功しました。X線折折およびX線小散乱測定(二体相関関数解析)、「その場」硬X線吸収分光測定、「その場」軟X線吸収分光測定、「その場」表面増強赤外分光測定、硬X線光電子分光測定、高分解能透過電子顕微鏡測定と理論計算を組み合わせることで、酸化イリジウム中の単斜晶相の割合とOER活性が関連することを発見しました。  総合理工学研究院 材料デバイス先端解析部門(融合基礎工学科) 辻 雄太 准教授
PICKUP 安達千波矢主幹教授 「2025年度江崎玲於奈賞」受賞者に決定 安達主幹教授の研究は、現在、携帯電話や薄型大型TV等に幅広く用いられている有機発光ダイオード(OLED: Organic Light-Emitting Diode)(有機EL)のデバイス構造から新材料開発まで、OLEDの科学技術の発展に多大な寄与を果たしてきました。 有機デバイスにおける基礎となるダブルヘテロ(Double hetero(DH))構造の構築、電荷注入・輸送・再結合過程の基礎物性の解明と共に素子の劣化機構解明も進め、実用に耐えうる材料・デバイスの設計指針を包括的に明らかにしてきました。 2012年には、巧みな分子設計によって、高速スピン変換を可能とした熱活性化遅延蛍光(TADF: Thermally Activated Delayed Fluorescence)材料を創出しました。TADF材料はイリジウムなどの貴金属等を含有しない安価な芳香族化合物からなる発光分子を用いて内部量子効率100%を達成し、次世代の有機EL用発光材料として世界的に研究開発が進められています。  工学研究院 応用化学部門(応用化学科) 安達 千波矢 教授	PICKUP 1原子レベルの薄膜で 磁気準粒子の磁化ねじれを制御 ～大容量・高速・低電力な新規情報端末の幕開け～ 人工知能をはじめとして私達は情報社会の恩恵を受けています。その魅力は多くの人と共有したい」という思いのもと、研究・教育・実践活動を推進してまいりました。今回の受賞は、これらの活動に共感し、共に取り組んでくださったすべての皆様のご支援の賜物です。ここに心より感謝申し上げます。なお林博徳准教授・鹿野雄一特任准教授らの取組は、ナショナルジオグラフィック協会の国際研究助成にも採択されるなど、国際的な注目も高まっています。今後は、同様の課題を抱える世界の地域や人々に貢献できるように、国際的な連携・発信をさらに強化していきます。  システム情報科学研究院 情報エレクトロニクス部門(電気情報工学科) 湯浅 裕美 教授	PICKUP 流域システム工学研究室が 「第13回グッドライフアワード」 環境大臣賞最優秀賞を受賞! ～教育機関としての初快挙～ 流域システム工学研究室では、「いい川・流域・社会をつくりたい。その魅力を多くの人と共有したい」という思いのもと、研究・教育・実践活動を推進してまいりました。今回の受賞は、これらの活動に共感し、共に取り組んでくださったすべての皆様のご支援の賜物です。ここに心より感謝申し上げます。今後は、同様の課題を抱える世界の地域や人々に貢献できるように、国際的な連携・発信をさらに強化していきます。  工学研究院 環境社会部門 流域システム工学研究室(土木工学科) 林 博徳 准教授 鹿野 雄一 特任准教授 高田 浩志 助教

研究成果一覧

学科	部門	氏名	職位	研究成果の内容
機械工学科	工学研究院 機械工學部門	武石 直樹	准教授	拒絶液中における柔軟な膜の局在化現象を発見 ～細胞分離・検診・診断における新規膜の提示～
融合基礎工学科	応用力学研究所 融合力学部門	文 鶴晴	准教授	微細強度の強化が引き起こすプラズマ乱流・流体・熱移動のメカニズムの解明 ～孔流機構形成と相互作用の新たな視察～
融合基礎工学科	総合理工学研究院 物質科学部門	赤瀬 大志	助教	次世代形状記憶合金の原子レベルでの動きの制御に成功 ～より高性能の合金開発の指針に～
応用化学科	工学研究院 応用化学部門	安達 千波矢	教授	有機分子の動的な構造変化を解明する新手法を開発 ～高機能材料の開発に貢献～
機械工学科	工学研究院 機械工學部門	佐久間 臣耶	准教授	ナノメートルサイズのセンサー・粒子が細胞膜の「フェロニケーション」を促進化 ～細胞間のやり取りを利用した時間的・空間的・細胞内情報の伝達を制御することに成功～
応用化学科	先導物質化学研究所 ソフトマテリアル部門	穴田 興久	准教授	世界初のATPプロドックによる健康寿命延長の可能性 ～ミトコンドリア活性化によりエネルギー代謝不均衡を改善する主体エネルギー分子治療の提案～
量子物理工学科	工学研究院 エネルギー量子工學部門	麻生 亮太郎 村上 恭和	准教授 教授	超微細ナノ粒子の電荷のゆらぎを捉える ～その場観測がのびるナノ材料・デバイス研究の新たな一歩～
土木工学科	工学研究院 環境社会部門	馬奈木 俊介 武田 美都里	主幹教授 特任助教	温室内環境の改善に“炭”と“温泉”の力 ～ヨーロッパは温室内環境の多様性を、ヨーロッパ環境の温泉入浴は排炭・入浴を改善～
量子物理工学科	工学研究院 エネルギー量子工學部門	河江 達也	准教授	水素分子を金属-絶縁体界面に付着電子状態変化の直接観測に成功 ～新たな高機能性・高性能材料の開発につながる可能性～
応用化学科	先導物質化学研究所 ソフトマテリアル部門	福原 学	教授	有機分子の還元反応が“加速”により進行することを発見 ～巨大分子材料の開発に向けた新たな設計指針を提供～
材料工学科	エネルギー研究教育機構	山崎 仁丈	教授	300℃で世界最高のノロトン伝導率を有する安定酸化物を開発 ～大型トランジスタ・四極管・電極材料の多用途化を促進～
融合基礎工学科	総合理工学研究院 物質科学部門	渡邊 賢	准教授	全固体電池向け固体電解質・電極材料における結晶性の反応メカニズムの解明と反応抑制に成功 ～低コストプロセスで製造する全固体電池実用化に前進～
応用化学科	工学研究院 応用化学部門	林 克郎 稲田 幹	教授 准教授	燃料電池や触媒などへの応用が期待されるプロトン伝導性材料を開発
量子物理工学科	工学研究院 エネルギー量子工學部門	日高 芳樹	助教	液晶と分子の複合材料で生じる新しい電流・電圧現象 ～ポストディスプレイ技術やエネルギー利用への応用に期待～
電気情報工学科	システム情報科学研究院 IS E ビジヨナリー特別部門	山下 尚人	准教授	スパッタリングによる成膜された磁性絶縁体の電流・電圧・抵抗特性の制御に成功 ～情報機器を大幅に省エネルギー化する技術開発を加速～
電気情報工学科	システム情報科学研究院 情報知能工學部門	荒川 豊	教授	充電いらずで電線の行動を記録する新たな概念 ～室内の動きと動きで電線・充電の手間を減らし、要員の行動記録を可能に～
電気情報工学科	システム情報科学研究院 情報知能工學部門	中村 優吾	助教	スマホゲームの遊びすぎ防止対策を8万人で検証 ～数秒の待ち時間と視覚刺激の低減が、ゲーム依存対策に有効である可能性が示唆～
土木工学科	工学研究院 環境社会部門	清野 聡子	准教授	大規模環境DNA調査から沿岸魚分布を推定する要因を探索 ～赤松を形成する環境・生態系の監視の仕組みを構築～
機械工学科	工学研究院 機械工學部門	下山 幸治	教授	AIが「理想の車」を生成設計し、計算コスト1/10で人型航空機主要部品の形状を導出 ～水素・アンモニア燃料機など脱炭素機の開発加速に期待～
応用化学科	工学研究院 応用化学部門	田中 敬二	主幹教授	うるる高分子鎖を初めて可溶性～高分子セグメントの制御を捉え、モビリティ固定技術を開発する新規接合技術への応用に期待
応用化学科	工学研究院 応用化学部門	佐々木 陽一 岩塚 信夫	准教授 教授	一直線分裂(SF)により増幅した超短パルスレーザーの効率的な捕集に成功 ～量子収率130%を達成する量子光源を開発し、太陽電池の限界突破に近づく～

詳細は九州大学工学部Webサイト→NEWS→「研究成果」で確認できます →



2027年度の工学部構成・学科定員と入学から卒業・修了までの流れ

群	学科・コース	P	募集予定人員						入学	1年次 工学部共通教育	2年次(前期) 学科群共通教育	2年次(後期)→ 3年次→4年次 学科専攻教育	学部卒業	進学 大学院専攻教育	修士課程 大学院専攻教育	修了 大学院専攻教育	進学 大学院専攻教育	博士後期課程 大学院専攻教育	博士修了	就職
			一般選抜 前期日程	一般選抜 後期日程	総合型選抜 一般枠	総合型選抜 女子枠	総合型選抜 次世代	学校推薦型選抜 一般枠	学校推薦型選抜 女子枠											
I 群	電気情報工学科	P11	118	—	10	—	(若干名)	—	—	128		工	電気情報系 教育	電気情報工学科	システム情報科学府	情報理工学専攻	システム情報科学府	電気電子工学専攻		
II 群	材料工学科	P12		—	6	5	(若干名)	—	—	45		学	物質系共通 教育	材料工学科	工学府	材料工学専攻				
	応用化学科	P13	116	10	4	—	(若干名)	—	—	60		学	物質系共通 教育	応用化学科	工学府	応用化学専攻				
	化学工学科	P14		5	2	—	(若干名)	—	—	32		学	物質系共通 教育	化学工学科	工学府	化学工学専攻				
III 群	融合基礎工学科	P15		—	8	2	(若干名)	3	—	48		部	融合基礎工学科 高専連携教育プログラム	融合基礎工学科	総合理工学府	総合理工学専攻				
	機械工学科	P16	162	—	—	—	—	—	7	112		共	機械系共通 教育	機械工学科	工学府	機械工学専攻				
	航空宇宙工学科	P17		—	—	—	—	—	—	22		共	機械系共通 教育	航空宇宙工学科	工学府	水素エネルギーシステム専攻				
	量子物理工学科	P18		—	4	—	—	—	3	31		共	機械系共通 教育	量子物理工学科	工学府	航空宇宙工学専攻				
IV 群	船舶海洋工学科	P19		—	8	—	—	—	—	30		通	総合工学系 共通教育	船舶海洋工学科	工学府	船舶海洋工学専攻				
	地球資源システム工学科	P20	101	5	2	—	(若干名)	—	—	29		通	総合工学系 共通教育	地球資源システム工学科	工学府	地球資源システム工学専攻				
	土木工学科	P21		—	8	—	—	—	—	65		通	総合工学系 共通教育	土木工学科	工学府	共同資源工学専攻				
V 群	建築学科	P22	46	—	6	—	—	—	—	52		教	建築系教育	建築学科	人間環境学府	都市共生デザイン専攻				
												育	建築系教育	建築学科	人間環境学府	空間システム専攻				
VI 群	2年前期終了時に学科決定	P23	124	—	—	—	—	—	—	124			高専							

令和9(2027)年度の入学者選抜方法



2027年度入試(2026年度実施)より
九州大学工学部入試制度が変わります。
詳細はP29をご覧ください。

入学者選抜方法に関する情報は、
九州大学Webサイトで随時確認してください。
選抜方法等の詳細は、各選抜の募集要項をご参照ください。

九州大学Webサイト → 入試・入学 → お知らせ →





全国から九大へ

在学生が語る福岡・九州の魅力



入学後にやりたいことを決める猶予がある 群制度が魅力でした



聞き手
九州大学 大学院工学研究院長・
大学院工学群長・工学部長
田中 将己

私が九州大学工学部を選んだ理由

田中工学部長：最初のテーマは「私が九州大学工学部を選んだ理由」についてです。

小村：高校時代、最も仲が良い友人に「一緒に九大に行く」と誘われたことがきっかけです。実際に二人で合格して、今は同じバレーボールのサークルに入っています。入学した後に専門を選べるV群の制度も決め手になりましたし、旧帝國大学というブランド力にも惹かれました。

岩本：高校の時に熱電発電にすごく興味を持って、熱電発電について研究している研究室を探しました。それが九州大学の材料工学科にあったので、ピンポイントで「ここに入りたい」と思ったのがきっかけです。修士までの「6年一貫型カリキュラム」があったの

も大きな魅力でした。

高橋：高校で勉強している中で「化学っておもしろいな」「ものづくりに携わりたいいな」というのが漠然とありました。九州大学工学部には群という制度があって、ある程度入学後にやりたいことを決める猶予があるというのが自分に合っていると思いました。

木付：私は有明工業高等専門学校出身で、5年間高専に通って、九州大学工学部に3年次編入で入りました。高専の授業でフラスコの中で新しい化合物を作れたとしても、それを人々に届けるには大量に作らないと意味がありません。どうすれば工場規模で生産することができるのかを考えるのが化学工学という部門で、それを勉強したいと思っていました。化学工学を専攻できる大学が、近くでは九州大学が京都大学しかなくて、自分は九州が好きなので九州大学に決めました。

釜田：私も高橋さんと同じで、入学してから1年以上たったタイミングで学科を決めることができるところが魅力でした。入学して

入った部活の先輩の話を聞いて学科を決めることができたのも良かったです。

森山：高校時代から「自分は理系が得意だ」という思いはありつつも、文系の教科にも興味があったので、工学部以外にも文系の学部がたくさんあることを前提に大学を選びました。理系でもどの分野にするのか決めずに群制度がある九州大学を選び、とりあえず興味がかった機械や航空、量子物理があるⅢ群に入りました。Ⅲ群時代に材料力学の授業があって、それがすごくおもしろくて機械工学に進みました。

白波瀬：小さい頃から航空宇宙が好きで、航空宇宙分野を専門的に学びたいという思いがありました。九州大学にした理由は3つあります。1つ目は九州大学だけに高速風洞という大きな施設があったこと。2つ目はオンラインでJAXAに務めていらっしゃる九州大学出身の女性エンジニアの講演を聞く機会があったこと。3つ目はサークル活動の鳥人間チームです。九州大学は鳥人間コンテストへの出場回数が多いと、伝統あるサー

クルである点に惹かれました。

金崎：高校生の頃から「小さいものを見たい」という欲求があり、電子顕微鏡を用いた解析に興味がありました。九州大学は電子顕微鏡施設が充実していることも知っていましたし、物理や数学も好きだったので量子物理工学科があることにも魅力を感じてⅢ群を選びました。

加美山：私は小さい頃から船が好きで、船に関する勉強をしたいと思っていました。自分がやりたかった船の船体とかハードに関する研究を一番よくやっていたのが九州大学でした。

河野：九州大学を選んだ理由はシンプルで、良い学習環境の中で学びたいと思ったからです。高校時代のテニス部の先輩が九州大学を目指しながらも途中で挫折されたんですね。尊敬する先輩が挫折する九州大学ってどんな大学なんだと思ったのと、そこに行けばどんな人たちと出会えるんだろうと興味を持って志望しました。実際に入ってみて、他の大学では出会えないような人たちに

出会えましたし、おもしろい研究にも出会うことができました。

高野：北海道からはるばる九州大学にきたのは、群入試が魅力だったことです。高校時代に興味が定まっていなくて、土木も地球資源もおもしろそうだなと感じていたので、入学後にいろいろな話を聞いて決めることができる群入試はとても良い制度でした。大学に入ってみると土木のスケールの大きさに魅力を感じて、土木の方に進みました。

安永：小さい頃から自分の手で建物を作りたいという夢があり、建築以外には進む気持ちはありませんでした。九州大学は、1年次から建築の専門教育を受けられるという点が魅力で、自分で建築事務所を持っている先生もいらっしやって、そういう点も含めて九州大学を選びました。

九州大学工学部を目指す受験生へ

小村：僕はゲームが好きなので、それに例えた話をします。受験勉強がしんどくなったら、

目の前の参考書をポケモンだと思ってください。新しく覚える公式は、新しく仲間になるポケモンです。公式をたくさん集めれば集めるほど、戦術の幅は広がります。でも、ただ暗記しただけでは戦えません。大切なのは公式＝ポケモンを使いこなせるように、練習を重ねてレベル上げをしていくことです。模試とかで失敗することはあるかもしれませんが、それはゲームオーバーではなく、相性やレベル上げが足りなかっただけ。「次はどの公式のレベルを上げて挑もうかな」と考えてください。そういうプロセスがゲームの醍醐味だし、そう考えれば勉強も楽しくなるのかなと思います。

岩本：僕は一般入試ではなく総合型選抜で入学したので、その視点からお話します。僕は夏まで部活しかやっていなくて、勉強が疎かになっていました。時間がい足りないと思っていたんですけど、自分の熱意を先生方にしっかり伝えることさえできれば合格の道は開くと思います。勉強だけに頼らず、総合型選抜という道もあるんだということをお伝えしたいと思います。



システム情報科学府
電気電子工学専攻 修士1年
(電気情報工学科 卒業)
小村 寛樹さん
(鹿児島県南高等学校出身)

材料工学科 4年
岩本 太樹さん
(東京都立川高等学校出身)

応用化学科 4年
高橋 弘毅さん
(広島県基町高等学校出身)

工学府
化学工学専攻 博士後期課程1年
(工学府化学工学専攻 修士課程修了
工学部化学工学科 卒業)
木村 遥子さん
(福岡県有明工業専門学校出身)

総合理工学府
総合理工学専攻 修士1年
(総合基礎工学科 卒業)
釜田 光華さん
(兵庫県姫路高等学校出身)

工学府
機械工学専攻 修士1年
(機械工学科 卒業)
森山 景太さん
(兵庫県加古川高等学校出身)

工学府
航空宇宙工学専攻 修士2年
(航空宇宙工学科 卒業)
白波瀬 莉子さん
(兵庫県西宮市立西宮高等学校出身)

工学府
量子物理工学専攻 修士1年
(量子物理工学科 卒業)
金崎 龍紀さん
(山口県下関高等学校出身)

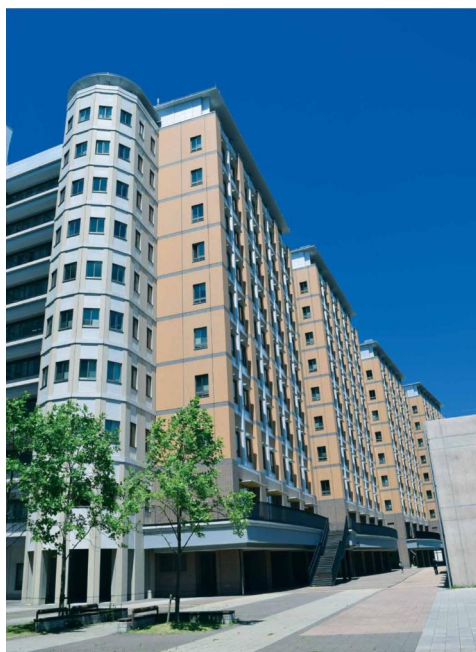
船舶海洋工学科 4年
加美山 将図さん
(北海道北嶺高等学校出身)

工学府
地球資源システム工学専攻 修士2年
(地球資源システム工学科 卒業)
河野 幸樹さん
(山口県下関中等教育学校出身)

工学府
土木工学専攻 修士1年
(土木工学科 卒業)
高野 紗瑛子さん
(北海道札幌日本大学高等学校出身)

人間環境学府
空間システム専攻 修士1年
(建築学科 卒業)
安永 麗生さん
(愛媛県松山高等学校出身)

得意よりも好きという気持ちを大事にして、進路を考えてほしい



高橋:自分自身は大学選びにかかる時間がそれほどなかったのですが、受験をするうえで「大学は本当にここでもいいのか」という迷いもありました。でも、実際に大学に入ってみて、出会う人、研究設備、学習環境など九州大学を選んで間違いないかと確信しています。

木付:私は高専からの編入で大学受験をして入ってきたわけではありませんが、自分が行きたい学科を選んだとしても、楽しいことばかりではなくつらいことも必ずあります。そんなときに頼りになるのは「好き」という気持ちです。どんなにつらいことがあっても「そ



の学問が好き」という気持ちがあれば踏ん張ることができるし、困難も乗り越えていけると思うので「得意」よりも「好き」という気持ちを大事にして、進路を考えてほしいと思います。

田中工学部長:高専生に向けたメッセージがあればお

願います。

木付:高専生は5年で卒業して就職する人も多いのですが、大学に入ると交友範囲が広がるので、大学編入という選択肢もぜひ忘れないでほしいと思います。成績の良い悪いにかかわらず、自分自身が成長する1つの進路として、大学編入も考えてほしいと思います。

釜田:受験時には何かと「あれかな、これかな」と迷うことは多いと思いますが、とりあえず目の前のことを頑張ることに集中してほしいです。一旦「これ!」という意思をもって進めることが大事なと思います。ダメだった

らそのときに考えればいいし、必ずどうにかなるのでまずは目の前のことを頑張ってください。

森山:高校生のときに印象に残った授業が、物理の気体分子運動論の計算でした。それが回り回って、今やっているコンピュータシミュレーションのようなものにリンクしています。高校のときに印象に残った授業や科目は、きっと縁があるものだと感じています。九州大学に対して、立地などの面で少し迷う人がいるのであれば、ぜひ一度足を運んで充実した施設環境を実感してもらいたいと思います。

白波瀬:私は人生の中で目標を立てることをモットーにしています。まずは「何をやりたいか」を見つけたところから始めるとは思います。そういつか人に「調べる」ということです。ウェブでも人に聞くでも何でもいいので、調べて「何かちょっとおもしろそう」と感じたことから始めてみてほしいです。例えば「この大学に行きたい」でもいいので、まず遠い目標から始めてみる。その目標を逆算して、月ごとの目標、週の目標、1日の目標に落とし込んでいくと、必ずとやるべきことが見えてくると思います。

金崎:高校3年のときの担任が九州大学出身で、教室には本がたくさんありました。それを手に取ったとき「これは受験に必要か?」と思って、興味がありつつも結局読まずに終わりました。受験勉強は限られた時間で多くの科目をこなす必要があるの、自分の興味があることをじっくり掘り下げることは難しいと思いますが、大学に入れば自由な時間が増えて興味があることをとことん追求することができるようになるので、今は大変だと思いますが、その先にある充実した学びの時間を楽しみにして受験勉強を頑張ってください。

加美山:私は船だけを見て九州大学に入ってきましたが、その後Ⅳ群の授業を受けてわかったのは、九州大学に学部は基礎から最先端まで幅広い研究をしているということ。受験勉強の息抜きでいいので、自分のやりたいことがあればそれに対する目標を明確にしてほしいと思います。そうすればきっと頑張ることができると思います。

河野:受験勉強はかなり大変だと思いますが、自分の受験期を振り返ると1つの教科を極めてみるのもいいと思います。自分は最初に物理を極めていきました。1つの教科にフォーカスすると2、3ヶ月で結果が見えるようになって、勉強のモチベーションも上がります。もちろん、英語や国語で単語を覚えていくことも大事ですが「今の時期は

数学にフォーカスしよう」とか、まとまった時間を1つの科目に当ててみるのもいいと思います。

高野:他県から九州大学を目指している人は、親元を離れて新たな環境に飛び込んでくることになりますが、きっと不安が大きいと思います。入ってみると大学にはいろいろなコミュニティがあるので、すぐに交友関係も築くことができますし、楽しいことがいっぱいあるので心配しなくても大丈夫です。どの大学

でも実際に入ってみないとわからないことがたくさんあるので、最後は勇気をもって飛び込んでみるのが大切だと思います。一歩踏み出せば想像以上に楽しいことが待っているの、踏み出す勇気をもって頑張ってください。

安永:受験生にとってモチベーションの維持は大変だと思います。そういうときは先のことを考えて、大学に入ればこういうキャンパスライフ

を過ごしたいとか、もっと先のことで言えばこういう仕事をしたいとか、広い視野をもって勉強に取り組んでほしいと思います。建築を目指す受験生の中には「絵が下手」とか「手先が不器用」という不安を抱えている人も多いと思いますが、実際に入ってみると構造設計という入学してから新しい道を見つけることができました。入ってみると、いろいろな道があって自分で選べるので、不安がらずに頑張って入学してほしいと思います。



九州大学工学部 受験生向け特設サイトで工学部座談会の完全版を公開中!

- ・実際に福岡に来てからの印象
- ・私が感じる福岡の魅力
- ・九州大学のキャンパス・学習環境の魅力
- ・将来の夢 ...and more

大学選考の参考になる話が盛りたくさん!ぜひコチラへ! ➡

学生が紹介する動画サイトもあるよ!



Department of Electrical Engineering and Computer Sciences



▲ 動画

ソフトウェア工学研究室

学部卒業後の主な就職先	アイシステム
アソシエイト	NTT西日本
アマゾン・ドット・コム	トヨタ自動車
NTTコムウェア	本田技研工業
MJC	日産自動車
日産自動車	九州電力
カネエレクトロニクス	関西電力
関西電力	リハビリ ニ ジェン、
サイバーエージェント	アクセシエム
NTTデータグループ	Astemo
公務員	正興電機製作所
	インフラ・コミュニケーションズ
修士課程修了後の主な就職先	博士課程修了後の主な就職先
ソニー	日立製作所
NEC	ソニー・LISデザイン
富士通	NEC
日立製作所	東京エレクトロニクス
東芝エレクトロニクス	KDDI総合研究所
日鉄・リユーシオニクス	富士通システムズ
三菱重工業	三菱物産
ファーストリテイリング	三菱グループ
i-PRO	キヤノン・ディジタルシステムズ
Japan Advanced	コービー
Semiconductor	住友電気工業
Manufacturing	九州大学大学院工学部
マツダ	大分県立大学工学部
安川電機	海外の大学
三菱総合研究所	ロッキード・三菱
ローム	富士通・富士システムズ
リコー	モリタールディングス
JFEスチール	リコー
パナソニック	シャープ
デンソー	森永乳業
日本総合研究所	グループ・パートナー・サービス・システムズ
TOTO	クダ
富士フイルム	任天堂
シャープ	NTT
ソフトバンク	パナソニック
NTTコム	
KDDI	
LINEヤフー	
野村総合研究所	
楽天グループ	
NTTアータ	

keyword | 金属 / 半导体 / 无机化学

Department of Materials



▲ 動画

エネルギー材料工学

学館卒業後の主な就職先	東京エレクトロン
JFEスチール	ソニー
山陽特殊製鋼	SUMCO
日本製鉄所	塩業化学工業
日本文学センター	京ヤフ
トヨタ自動車	キヤノン
スズキ	村田製作所
豊田自動機	キオクシア
京セラ	一菱電機
ANA	パナソニック
中部電力	日立製作所
九電工	日鉄ノリマーションズ
公教組	三菱重工
修士課程修了後の 主な就職先	ダイキン工業 凸版印刷 三菱マテリアル 川崎重工業
日本製鉄	博士課程修了後の 主な就職先
JFEスチール	初戸製鋼所
神戸製鋼所	大同特殊鉄
大同特殊鉄	山陽特殊製鋼
山陽特殊製鋼	日本製鉄
愛知製鋼	JFEスチール
住友電気工業	日本精工
ブローリアル	仁愛金属工業
TOTO	東レ
UACJ	日立製作所
三井食品	ミネベアミツミ
AGC	ウエムタデジタル
日本精工	SUMCO
塩業化学工業	九州大学はく大学法人
日本文学センター	海外の大学
日産自動車	産業技術総合研究所
本田技研工業	日本原子力研究開発機構
トヨタ自動車	三菱重工
デンソー	
ダイハツ	
Jacar Advanced	
Semiconductor Manufacturing	



X線光電子分光装置を使った電子状態解析

Ⅱ 群 応用化学科

Department of Applied Chemistry



▲ Webサイト



▲ 動画

化学で人々の暮らしを豊かにし、
持続可能な社会の構築に資する学問を追究します

この学科のポイント！

応用化学は物質を自在に設計し、新しい機能と価値を創造する学問です。様々な分野と融合しながら、社会を支える学問として益々発展しています。本学科は機能物質化学コースと分子生命工学コースで構成されており、化学の分野を網羅する基礎科目に加えて、世界トップクラスの研究成果を生み出す教育・研究環境を整え、充実したカリキュラムを用意しています。機能物質化学コースでは主に高分子材料・無機材料を用いる触媒材料、複合素材、エレクトロニクス、ナノデバイスおよびそれらを支える理論解析を研究し、分子生命工学コースでは分子触媒、分子集積材料、エネルギー変換材料やバイオ医用材料、ヘルステクノロジーを研究しています。



組織用遺伝子の調製の様子



有機化合物試料の光学測定

私の研究内容

有機光エレクトロニクス研究室

大学院工学府
応用化学専攻 修士課程1年
(工学部 応用化学科 卒業)
愛媛県新居浜工業高等学校出身
田鶴谷 有美さん



「刺激を与えることで発光・消光を制御できるスイッチ型の蛍光分子」を効率的に新しく作り出すことを目的として研究を行っています。蛍光分子とは、特定の光を当てると光って見える分子のことです。細胞を顕微鏡で観察するときの「目印」として使われるなど、医療や生命科学の分野で広く利用されています。

私の研究では、蛍光分子の中でもスイッチ型の蛍光分子を新しく作り出すことを目的としています。私はローダミンの骨格を持ちながらも「光らない」分子を意図的に探索し、スイッチ型新規蛍光分子の候補にしようとしています。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	博士課程修了後の主な就職先
パナソニック	三井化学
アドバンテック	一宮ケミカル
京セラ	富士フィルム
キヤノン	花王
鴻池組	旭化成
味の素	中外製薬
ヤクルト	アステラス製薬
	第一三共
	三菱ケミカル
	積水化学工業
	三井物産
	JSR
	カネカ
	日産化学
	日産ゼオン
	住友金属工業
	シスメックス
	JT
	九州大学ほか大学法人
	海外の大学
	ADEKA



研究室での実験の様子 細胞の蛍光顕微鏡による観察

Ⅱ 群 化学工学科

Department of Chemical Engineering



▲ Webサイト

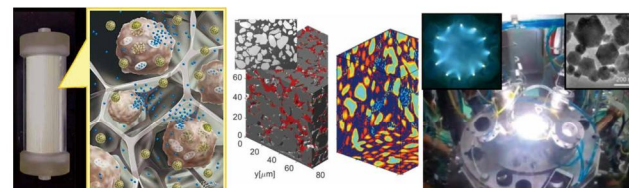


▲ 動画

現象を理解し、社会で動く技術にする力

この学科のポイント！

化学工学は、現象を理解し、設計し、社会で機能する技術へつなぐ学問です。バイオ、材料、環境・エネルギー、医療など幅広い分野で、その力を発揮しています。生命工学分野では、遺伝子工学を活かしたバイオ医薬品生産や再生医療工学技術の開発が進められています。環境・材料分野では、プラズマを用いた材料創製や環境プロセス、二酸化炭素分離、電池・エネルギー関連研究など、社会課題の解決に直結する研究を展開しています。さらに、シミュレーションやデータ駆動を活用した化学プロセスの高性能化も進んでいます。本学科では、こうした多様な課題を支える化学工学の基礎を学べるのが大きな魅力です。



球状の細胞組織体が充填された人工肝臓システム

情報工学を活用した電池内シミュレーションの様子

多相交流アークプラズマ装置

私の研究内容

プロセスシステム工学研究室

大学院工学府
化学工学専攻 博士後期課程1年
(大学院工学府 化学工学専攻 修士課程 修了
工学部 化学工学科 卒業)
福岡県有明工業高等学校出身
木付 遥子さん



水と生体機能の関係について研究しています。私たちの細胞の中は、DNAやタンパク質、多糖といった生体高分子で満たされており、そのまわりを取り囲む「水」の状態が、生命の働きに深く関わっています。私の研究では、人工的に作った合成高分子を使って、この水の環境をあえて変化させ、糖とタンパク質の結合や酵素反応がどのように変化するのかを調査しています。水の役割から生命のしくみを解き明かすことを目指しています。将来は、大学または高専の教員となり、研究活動を通して化学や生命の面白さを伝えていきたいと考えています。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	三友工業
中外製薬	日産
東洋エンジニアリング	アサヒビール
NTTデータ	二重商事
公務員	EYストラテジー・アンド・コンサルティング
九州電力	富士フイルム
タチチテクノロジーズ	サントリー
	大日本印刷
	JFEエッジ
	伊藤忠商事
	野村総合研究所
	日鉄パレーションズ
	アスビル
	SOSK
博士課程修了後の主な就職先	
旭化成	旭化成
AGC	アステラス製薬
アメテラ製薬	中外製薬
花王	住友化学
資生堂	ポリプラスチックス
クラレ	アスビル
住友化学	九州大学ほか大学法人
中外製薬	産業技術総合研究所
市人	大塚製薬
テルモ	日産三栄製
スズキ	海外の大学
東レ	
日鉄ケミカル&マテリアル	
日本触媒	
三井化学	
三菱ケミカル	
NTT西日本	
東京エレクトロニクス	
三菱電機	



浮体式洋上風力発電施設

IV 群 船舶海洋工学科

Department of Naval Architecture and Ocean Engineering



▲ Webサイト



▲ 動画

持続的な海洋開発を担い、
海と人類の共生に貢献できる技術者・研究者への扉

この学科のポイント！

国土を海に開かれた日本の発展には、社会・生活を支えるエネルギー・資源の調達や輸出入のための海上輸送、資源開発など海洋の有効利用が必要であり、日本成長戦略会議における戦略17分野の一つとして「造船」が挙げられています。

本学科は構造・流体・材料・制御等の基礎的な学問分野だけでなく、巨大構造物を開発・設計・生産する総合工学を学ぶカリキュラムを有しており、工場見学や実習、船の設計演習等を通じて多面的に学びます。また、プログラミングやシミュレーションの実行、開発・設計・生産へのAIの活用などに関する教育・研究も活発です。卒業生への評価は高く、輸送機器・重工業の他、多様な企業や研究機関に就職しています。



船舶運動性能試験水槽における操縦性能試験



高速回流水槽を使った船体抵抗試験

私の研究内容 生産システム工学研究室

船舶海洋工学科 4年
福岡県明善高等学校出身
植橋 明さん



船舶海洋工学科の魅力は、造船にとどまらず、鉄鋼や風力発電機など幅広いものづくりに関わる知識を学べる点と、人と人のつながりが強い点にあります。

私の研究テーマは「溶接品質評価AI構築」です。船体の接合には溶接が用いられ、工場で行った溶接が上手くできているかどうかは、検査員が目視判定します。将来的な人手不足が懸念される中、溶接品質の評価をAIによる自動化が求められています。そこで溶接機の電流・電圧データなどを用いた深層学習および機械学習により溶接品質を判定するAIの開発に取り組んでいます。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	博士課程修了後の主な就職先
大島造船所 ジャパン マリンユナイテッド くろ島造船 名村造船所 長通造船 福岡造船 トヨタ自動車 ヤマハ発動機 クボタ 日立製作所 関西設計 国土交通省 県庁 市役所 九州電力	日本郵船 商船三井 戸田建設 清水建設 三井海洋開発 出雲 東洋エンジニアリング 五洋建設 JFEスチール 日本製鉄 日立製作所 日立製作所 三菱重工業 IHI 日本海事協会 防衛装備庁 海上自衛隊幹部候補生学校 四「地理院 東京エレクトロン 日鉄TJエンジニアリング
博士課程修了後の主な就職先	博士課程修了後の主な就職先
大島造船所 ジャパン マリンユナイテッド 「崎益工業 名村造船所 今治造船 住友重機械マリンエンジニアリング 新栄島どつく 三菱造船 三菱重工マリンシステムズ トヨタ自動車 日産自動車 ヤマハ発動機 豊田自動織機 デンソー カワサキモーターズ 「崎汽船	ジャパンマリンユナイテッド 三井E&Sシナリ JFEスチール 日本製鉄 日本海事協会 海上技術安全研究所 三菱重工業 防衛装備庁 九州大学ほか大学法人 日本芸術家協会特別研究員（PD） 海外の大学 オーシャンネットワークエクスプレスジャパン 「崎汽船



現場で鉄鉱石インターミットに乗り込む様子

IV 群 地球資源システム工学科

Department of Earth Resources Engineering



▲ Webサイト



▲ 動画

地球規模の資源・エネルギー・環境問題の解決に向けて
世界トップレベルの教育・研究拠点で学ぶ

この学科のポイント！

本学科は、鉱物・エネルギー資源の開発に関わる地球規模の課題に取り組んでいます。探査・採掘・精製分離から防災・再生まで、資源開発の全過程を網羅し、天然水素、CO₂地中貯留、都市鉱山資源のリサイクル、金属汚染環境の修復、地球外資源探査なども研究・教育対象としています。

これらの資源は社会と産業の基盤であり、本学科ではその持続可能な利用を探究します。3年次には国内外の企業でインターンシップを実施し、実践的な経験を積みます。研究室では留学生と交流しながら分野横断型の研究に取り組みます。国際的視野と主体的な学習姿勢を持つ学生には、世界で活躍する道が開かれています。



国際フィールド調査 チェコ国Jeronym製鉱山跡



火口の噴気活動調査

私の研究内容 岩盤・開発機械システム研究室

地球資源システム工学科 4年
岡山県岡山県立高等学校出身
古賀 麗さん



地球資源システム工学科の魅力は、最近のニュースや記事でエネルギー問題が取り上げられない日はないほど話題となっている分野に、自分自身が関わることです。また、他の群や学科に比べて現場に行く機会が多く、自分の目で日々変わりゆく鉱山の姿を見られる点も魅力です。

私は石灰石鉱山における発破に伴う空気振動に関する研究を行っています。また研究室に配属されたばかりなので、詳しく研究は行えていませんが、露天掘り鉱山の発破作業における火薬類の爆発に伴う騒音の低減方法について研究していきたいと考えています。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	伊勢丸紅鉄鋼 三友重務 生友重務 九紅 一井物産 伊藤忠商事 全日空運輸 日本旅客 日本郵船 トヨタ自動車九州 「代用化工建設 清水建設 日揮ホールディングス 日産造船 日産造船 小松製作所 アキヤンチュア エネルギー金属鉱物資源機構（JOGMEC） ペイカレント パピムコンクリート エム・アル・アイリリーチア ソシエツ AGC フジフ 三菱UFJ銀行
修士課程修了後の主な就職先	博士課程修了後の主な就職先
九州電力 九龍工 東電エレクトロニクス 東電エレクトロニクス 中部電力 西部ガス 大阪ガス ENEOS 出光興産 コスモエネルギーホールディングス 石油資源開発 INPEX JX石油開発 シャトルペルジ 伊藤忠石油開発 JERA 三菱マテリアル 住友金属鉱山 JX全商 JFEミネル DOWAホールディングス 太平洋セメント	産業技術総合研究所 電力中央研究所 自然エネルギー財団 「エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC） 「BINK 九州大学ほか大学法人 福岡県保健医療研究所 日鉄鉱業 カーボンフロンティア機構（JCOAL）



2025年度3年生関東研修(首都圏外郭放水路など)

IV 群 土木工学科

Department of Civil Engineering



▲ Webサイト



▲ 動画

サステナブルで豊かな国土や 都市を構築するための技術を学ぶ

この学科のポイント！

土木工学 (Civil Engineering) は、安全・安心で幸福 (Well-being) な暮らしのために不可欠な、都市、道路、鉄道、上下水道、港などの国土基盤を整備・保全するための幅広い学問です。

激甚化する災害への備え、グリーンインフラを活用した都市と自然の調和、ビッグデータの活用や自動運転社会への対応など、新しい技術を取り入れ、未来を見据えた持続的で豊かな国土や都市の構築を目指しています。

環境・社会・経済の問題が山積した変化の激しい現代社会において、実際の現場で自然条件や地域社会と向き合い、専門家と協働しながら、ものづくり・まちづくりに携わる土木工学は、最もAIに置き換えられにくい分野の一つとして、将来性が注目されています。



本学科主催の社会共創プロジェクトで実現したグリーンインフラ(上西郷川(福岡県福岡市))



「プロジェクトものづくり」での本體製作

私の研究内容

建設設計工学研究室

大学院工学府
土木工学専攻 修士課程1年
(工学部 土木工学科 卒業)
福岡県福岡大学附属大濠高等学校出身
木村 美涼さん



土木工学科の魅力は、社会の基盤を支える幅広い分野を学べる点にあります。構造、地盤、水環境、交通計画など多様な分野が存在し、学びの幅を大きく広げることができます。

私は環境に配慮した低炭素型コンクリートやコンクリートの劣化現象について研究しています。実験に用いる供試体も自ら製作しており、材料の配合から成形、養生に至るまでの過程を通してコンクリートへの理解を深めることができます。配合や製作方法の違いが性質に与える影響を実際に確かめられる点も興味深く、一連の経験を通して実際の土木現場に近い視点で学べる点も魅力です。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	1Hインフラシステム
鹿島建設	国土交通省
大林組	福岡県
清水建設	防衛省
大成建設	県庁
五洋建設	市役所
前田建設工業	JR 鉄道各社
奥村組	高浜連絡会社 (NEXCOなど)
西松建設	日本工業
戸田建設	建設技術研究所
東亜建設工業	オリエンタル・コンサルタンツ
東洋建設	パブリックコンサルタンツ
オリエンタル・石	八千代エンジニアリング
国土交通省	西三本技術開発
環境省	経済計画研究所
県庁	NTT都市開発
市役所	東京建設
JR 鉄道各社	日本製鉄
電力各社	三菱マテリアル
日本工業	電力各社
オリエンタルコンサルタンツ	西部ガス
パブリックコンサルタンツ	大阪ガス
東京建設コンサル	NTT西日本
	NTTコム

修士課程修了後の主な就職先
鹿島建設
大林組
清水建設
大成建設
五洋建設
前田建設工業
漢河ブリッジ
JFEエンジニアリング
日鉄エンジニアリング

博士課程修了後の主な就職先
九州大学ほか大学法人
海外の大学
国立研究開発法人
企業等の研究所



学外での地域住民と交えた設計課題講評会風景

V 群 建築学科

Department of Architecture



▲ Webサイト



▲ 動画

住宅から都市に至る人間の多様な生活に密着した空間を造り出す 建築家や技術者、研究者を養成します

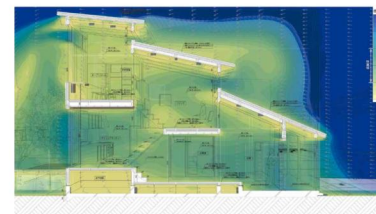
この学科のポイント！

建築学は技術的問題から社会的・文化的問題まで広い領域に関わっており、建築・都市の分野に携わる者には、多様な要素を総合的にまとめる能力に加えて、芸術的な造形能力が求められます。建築学科では、建築・都市の文化と歴史を顧み、建築・都市を理論的に計画し、具体的な形に設計する方法、快適で健康的な空間をつくる環境技術、丈夫な建物をつくる構造技術、建築の材料と施工技術などについて研究と教育を行っています。

本学科のカリキュラムは、建築学に関わる諸知識を体系的・理論的に学ぶ講義、具体的なデザイン手法を習得する設計演習、専門知識を体得する実験などでバランスよく構成され、国際社会の第一線で活躍する人材を養成します。



学生によるセルフビルドのバベリオン製作



風環境シミュレーションを利用した設計案の検討

私の研究内容

循環建築構造学研究室

大学院人間環境学府
空間システム専攻 修士課程1年
(工学部 建築学科 卒業)
愛知県旭丘高等学校出身
加藤 千晶さん



研究室では改修による建物の長寿命化や材料のリユース・リサイクルによって環境負荷の小さい建築の実現を目指しています。歴史的建築物の保存のための補修技術や炭素固定の観点から木材を使用した構造部材などを対象に、さまざまな構造の安全性や性能を実験や解析で検証しています。

私自身は軽量で柔軟な材料によって大空間を構成する膜構造の宇宙空間への適用についての研究をしています。膜構造は材料使用量を抑えられるため環境負荷の低減につながるほか、仮設利用や部材単位での再利用が可能な場合もあり、資源循環の観点からも利点があります。

主な就職先リスト

学部卒業後の主な就職先	ARUP
鹿島建設	丸井工務社
建設設備設計研究所	日本工業
積水ハウス	ハシブツク・コンサルタンツ
人成建設	建設技術研究所
人知ハス工芸	NTT都市開発
VJLLD	東京不動産
祐同地所	野村不動産
私鉄各社	三井不動産
Primetals Technologies	森田建設
Japan	森田建設
電力各社	JR各社
郵政	私鉄各社
県庁	電力各社
市役所	ガス各社
防衛省	YKK AP

修士課程修了後の主な就職先
大林組
鹿島建設
清水建設
大成建設
五洋建設
前田建設工業
漢河ブリッジ
JFEエンジニアリング
日鉄エンジニアリング

博士課程修了後の主な就職先
九州大学ほか大学法人
私立大学
海外の大学
建築研究機関
企業等の研究機関



1年次にⅥ群で学んだ先輩に聞きました

2025年Ⅵ群に入学
Ⅵ群 2年
佐賀県佐賀西高等学校出身
早川 郁子 さん



高校時代に創薬や半導体など理系分野の多くのことに興味を持っており、受験時に大学で専攻したいことを絞り切れなかったためⅥ群を選択しました。

当初は化学分野のⅡ群を志望していましたが、Ⅵ群生向けのイベントである先輩との交流会や夏季休業中に行われた研究室見学会、先端技術入門という講義を通して次第に電気情報分野のⅠ群や機械系のⅢ群にも興味を持ちました。

特に進路の決め手となった研究室見学会では、実際に研究室の中に入って実験機器や実験風景を見ることができて、将来の研究が想像しやすくなりました。

2023年Ⅵ群に入学
建築学科 4年
大分県大分舞鶴高等学校出身
横島 隆葉 さん

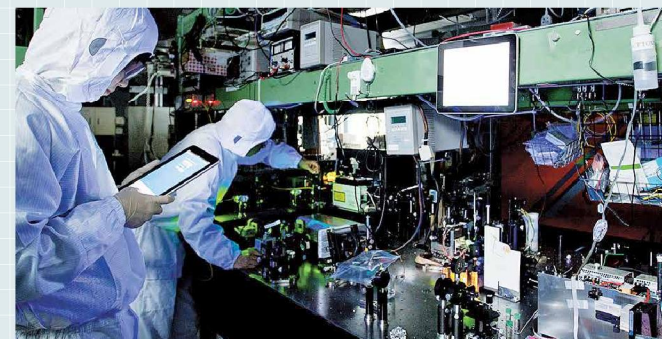


工学部は物理から化学、生物、情報に至るまで幅広く、自分の学びたいことが何なのか明確ではありませんでした。そこで、大学という新たな環境を肌で体感し、各分野の特徴や自分の関心を見極められるⅥ群を選びました。Ⅵ群では各学科の先生方の話を聴いたり、先輩との交流会があったり、研究室に見学にいけたりする機会があり、これらを通して各分野の特徴や自分の興味を深掘りすることができました。

高校生の頃から建築への関心は他の分野より強く、結果として大学での選択も同じものになりましたが、大学という実際に学ぶ環境で改めて進路について考えることができたのは、高校生の勉強の合間のなんとなくの選択よりも濃いものになったと思います。

大学院のススメ

九州大学工学部の卒業生は、社会からの強い期待、要請もあり、その多くが大学院修士課程に進学しています。九州大学工学部・大学院工学府では、充実した教育研究環境を活かして学部で学士課程4年間に大学院修士課程2年を加えた6年間の一貫した教育プログラムを整備しており、多くの優秀な修士課程修了生が様々な分野で活躍しています。また、社会が複雑化するなか、国際競争力を向上し、社会課題の解決に貢献する高度専門人材、「新しい価値を創造する人材」、「イノベーションを創出できる人材」の育成が求められていて、これに応えるべく博士課程の教育にも力を入れています。皆さんも、強い志を持って大学院に飛び込んでみませんか？



工学府

材料工学専攻
応用化学専攻
化学工学専攻
機械工学専攻
水素エネルギーシステム専攻
航空宇宙工学専攻
量子物理学専攻
船舶海洋工学専攻
地球資源システム工学専攻
共同資源工学専攻
土木工学専攻

システム情報科学府

情報理工学専攻
電気電子工学専攻

総合理工学府

総合理工学専攻

人間環境学府

都市共生デザイン専攻
空間システム専攻

Ⅵ群

複数の学科に関心がある人や、
目標に向かうための進路を明確にしたい人のための選抜

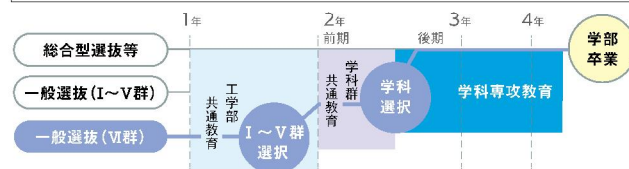
入学時には学科群が未定で、入学1年後に学科群を選択できる入試選抜の仕組みです。より多くの正確な情報に基づいて進路を考え、学科群を選択することができます。

「各学科の分野紹介の講義」を聞けるほか、「先輩との交流会」で先輩に尋ねたり「研究室見学会」で研究室を自分の目で見てその場で質問したりできるため、学科群の有用な情報を得ることができます。

1年次は「工学部共通教育科目」を履修するため、Ⅰ～Ⅴ群の学生に比べて学習面で不利が生じることは全くありません。

授業では

- 1年次(工学部共通教育)「先端技術入門A」「先端技術入門B」
全ての学科の分野における最先端技術や、基盤となる学問分野の役割と重要性を学ぶため、学科群選択に活かすことができます。
- 2年次(工学部共通科目)「工学概論」
各群における専門的な技術や研究内容がより詳しく紹介され、学科の教育内容とキャリアについて学ぶため、学科選択に活かすことができます。



※学科群及び学科の配属は、「志望」や「大学での授業成績」等に基づいて決定します。

Ⅵ群受験はこんな生徒にオススメ！

複数の学科に関心がある人

- 物理系にも電気系にも興味がある！どちらに進もうかな...
- 計算科学をやってみたいし、物質のミクロな世界も学びたい！講義を受けてみてから学科を選びたいな

目標に向かうための進路が不明な人

- 将来はエネルギーの研究開発に携わりたい！そのためには、どのような分野に進んで行けばいいのかな？

学科や専門分野のイメージが湧かない人

- 理系科目が好きなので工学部でいろいろな学びたいけど、どの分野でどのようなことを学べるの？
- 工学部は分野が広くて、高校でも十分な情報を得るのが少し難しいから、まだよく分かっていないんだよ



工学部・工学府の学生支援について

各種奨学金・助成金(工学部・大学院工学府学生対象)

工学部・大学院工学府の学生を対象に、例年様々な地方公共団体・民間奨学団体から奨学金・助成金の募集案内があります。

募集案内のあった奨学金・助成金については、所属の学科・専攻事務室を通じて通知されます。

研究奨励金・奨学金(大学院工学府学生対象)

- 博士課程学生支援プログラム(SPRING/BOOST)
- 九州大学大学院研究力強化奨学金
- 優秀な修士課程等の学生に対する授業料支援
- 工学府博士後期課程研究支援奨学金



学生支援の詳細はQRコードから
工学部Webサイトにてご確認ください。



※2026年4月1日時点の情報です。今後変更となる可能性があります。

九州大学の経済支援について

集え 未来人材!! あなたを支える経済的支援

九州大学の奨学支援制度のご案内ページです。九州大学は「新たな社会をデザインする力と課題を解決する力を有し、グローバルに活躍できる価値創造人材の育成」掲げ、あなたの学びを応援します。

支援対象者から経済的支援制度を探す

- 高校生 ※大入学前に申請可能(支援開始は入学後)
- 学部生 ●修士課程学生 ●博士(後期)課程学生

目的から経済的支援制度を探す

- 経済的に困難な学生への支援
- 特に優秀な学生への支援
- プログラム等に所属する学生への支援
- 留学・国際学会発表する学生への支援
- 被災学生への支援



詳しくは
Webサイトに
ご確認ください。

※2026年4月1日時点の情報です。今後変更となる可能性があります。



「キャンパスコモン」は
気分転換できる広場



早朝でも夜でも使える
24時間営業のL-café



木村 遥子さん
工学部化学工学専攻
博士後期課程 1年

植島 隆葉さん
建築学科 4年

E-Cafe横にはキャッチボールやBBQを気軽に楽しめる多目的芝生広場「キャンパスコモン」があります。晴れた日には、私も研究の合間に研究室の仲間とキャッチボールで気分転換をしています。遊びと勉学のメリハリを自然につけられる、とても魅力的な環境です。

飲み物だけでなく食べ物自動販売機もある無人のカフェになりました。それにより、24時間営業になり、夜遅くや朝早くでも利用できるようになり、おすすめです。特に、設計実習のために学内で夜を明かす時や、朝早く勉強したい時にはよく利用します。

MESSAGE
OB・OGメッセージ

境 小牧さん

ジャパン マリンユナイテッド株式会社

設計本部 有明設計部 構造設計グループ 詳細設計チーム

(工学部船舶海洋システム工学専攻2006年3月修士課程修了 工学部地球環境工学科2004年3月卒業)



有明事業所では、原油を運ぶタンカー、鉱石等を運ぶバルクキャリア、コンテナを運ぶコンテナ船等、貨物運搬船を建造しています。私は構造設計の中の詳細設計という部署に所属しています。

構造設計では強度計算を基に、部材の配置や寸法を決定し、その情報を織り込んだ図面を作成します。更にその図面を基に、部品単位の情報へ展開していきます。学生時代の学びが業務に直結していますが、特に構造力学は、もっと真面目に勉強しておけば良かったと思うほど生かされています。

井上 雄太さん

全日本空輸株式会社

(工学部物質プロセス工学専攻2022年3月修士課程修了 工学部物質科学工学科2020年3月卒業)



ANAの国内線・国際線では客室乗務員として働いています。最大の任務である保安業務をベースに、食事や飲み物のご提供、機内販売、到着地のご案内など業務内容は多岐にわたり、瞬時の判断力や洞察力、想像力が求められます。一番のやりがいを感じるの、お客様から「ありがとう」と言葉をいただくときです。九大在籍時、私の研究室には留学生も多く英語が共通言語でした。そのような語学力や物事を正確に伝える力は、CAの仕事にとっても生かされています。



伊都協賛館の魅力は、静かで落ち着いた環境の中で生活できる点です。また、九州大学の寮であるため大学に比較的近く、通学しやすい点も便利です。さらに、九州大学の寮の中では家賃が安く、部屋も比較的大いため、快適に過ごすことができる点にも魅力を感じています。

学生寮ならではの
通学のしやすさが魅力

照屋 悠さん
システム情報科学府
情報理工学専攻 1年

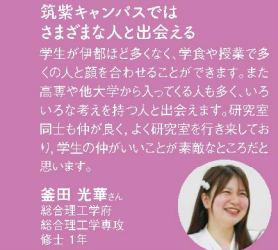


自分の視野が広がってくれた
ELEPでの留学経験



緒方 翔平さん
材料工学科 4年

ELEPを使ってアメリカに留学しました。日本と海外では働き方や考え方が大きく異なることを実感しました。この経験から、「さまざまな価値観を持つ人がいる」ということを前提に物事を考えるようになり、自分の視野が広がったと感じています。



筑紫キャンパスではさまざまな人と出会える学生が伊都は多く、学食や授業で多くの人と顔を合わせることができ、また高専や他大学から入ってくる人も多く、いろいろな考えを持つ人と出会えます。研究室同士も仲が良く、よく研究室を歩き来たりしており、学生の仲がよいことが素敵なおとこだと思っています。

釜田 光華さん
総合理工学府
総合理工学専攻
修士 1年



航空低騒音風洞(EN60)は
日本でも有数の設備



石塚 玲於那さん
工学部航空宇宙工学専攻
修士 1年

私の研究は解析がメインなので実験用の施設や設備を使うことはあまりありませんが、私の研究室の実験班が主に使用する風洞は日本有数の設備です。高性能な低速低騒音風洞では、日々航空機の空気力学的研究が進められており、UAVVに関する解析等が盛んに行われています。

理系図書館は蔵書豊富で
用途に応じた利用も可能

私の理系図書館の活用法としては、勉強で分からないことがあった際の調査や幅広い知識の習得です。蔵書数も多く、特に専門書が豊富であるところが大きな利点です。用途目的に応じて、個室やグループ学習室なども利用できることが便利だと思います。

堀田 稜斗さん
量子物理工学科 4年



「量子計算×流体解析」という最先端の融合分野の研究を行っています。本格的に取り組んでいる研究グループは国内でも珍しく、企業や海外でも注目を集めている未踏領域です。答えが確立されていないからこそ、新しい理論や技術を自分たちで切り拓いていく面白さが魅力です。

白波瀬 莉子さん
工学部航空宇宙工学専攻
修士 2年



ウエスト2号館の2階から10階に設けられた「フーコーの振り子」。地球の自転を目で見て実感できる装置で、良いワイヤーの先に重りが付いた振り子がゆっくりと揺れ続ける中で、時間の経過とともに揺れる向きが少しずつ変化していく様子を観察することができます。

地球の自転を実感できる
「フーコーの振り子」

木村 美涼さん
工学部土木工学専攻
修士 1年



利用の目的によって
図書館を使い分け

早川 郁子さん
V1群 2年

中央図書館は建物自体が新しく勉強のやる気が出るのに加えて、大きな吹き抜けがあって開放感を味わうことができます。センターゾーンに近く基幹教育科目の合間に利用するのに便利です。友人と課題をするときや講義にプラスして資料を集めたときは理系図書館を使います。

留学プログラムELEPでできた友達が、昨年度から留学してきているため、みんなで食事やドライブに行っています。研究室のメンバーの半数程度が留学生なので関わる機会も多くあります。留学生の皆さんはとてもフレンドリーで、日本文化にも興味を持ってくれます。

研究室の半数が留学生で
関わる機会もたくさん

古賀 麗さん
地球資源システム工学科 4年

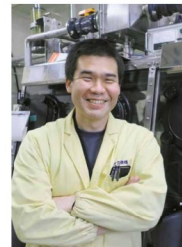


高木 聖也さん

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

原子力科学研究所 軽水炉工学研究センター

(工学部エネルギー量子工学専攻 2016年3月博士課程修了 工学部エネルギー科学科 2011年3月中退)



放射性廃棄物減容を目的とした次世代の原子力燃料の製造技術開発、放射線照射による燃料への影響について研究しています。これまで文部科学省の受託研究やメーカーから受託して行う研究開発に参加し、現在は九州大学やフランス原子力庁との共同研究も計画しています。研究開発の内容自体はまだ社会貢献を実感できる段階ではありませんが、人類の課題である放射性廃棄物に係る研究開発に携わっていることにやりがいを感じています。

馬崎 夏実さん

川崎重工業株式会社

航空宇宙システムカンパニー 航空宇宙技術本部

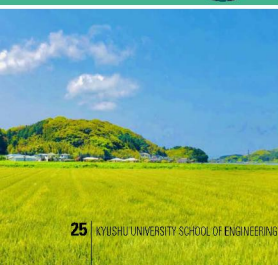
システム技術総括部/機体装備システム技術部 操縦・降着システム技術課

(業)動力装備システム技術部 動力システム技術開発課

(工学部機械工学専攻2021年3月修士課程修了 工学部機械航空工学科2019年3月卒業)

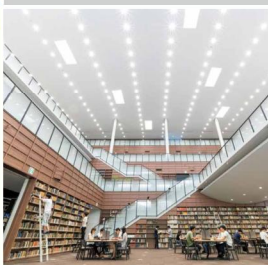


ブルーインパルスで知られるT-4中継練習機という自衛隊向けの航空機の維持設計(メンテナンスや改良のための設計)を行い、実際の航空機に触れて航空機の仕組みや基礎知識を学びながら、水素航空機(液体水素を燃料とする航空機)の研究開発を行っています。水素航空機は従来の技術が通用しないことも多いですが、困難な課題に挑戦し乗り越える度に技術者としての成長とやりがいを感じています。水素航空機の実現を通して、地球の未来に貢献していきたいです。



豊かな自然に癒される広大な伊都キャンパス海と山に囲まれた広いキャンパスで、芝生や広場も多く公園のような雰囲気です。総合大学なので人は多いですが、空間にゆとりがあるため全く窮屈さは感じずのびのびとした印象です。大学での学習や研究の合間に豊かな自然に癒されて、心身ともに健やかに過ごせます。

加藤 千晶さん
人間環境学府
空間システム専攻
修士 1年



仲間とプログラミングを
議論するのが楽しい

金崎 龍紀さん
工学部量子物理工学専攻
修士 1年

九州大学競技プログラミング部(旧称:ICPCチャレンジ部)では、主に競技プログラミングコンテストの上位入賞を目指して、日々練習会や勉強会を行っています。1年に1回、ICPCという大会があり、3人でチームを組んで実装方針や解法について議論するのが楽しいです。





ELEP (イーレップ)

Engineering Leaders English Program



伊都キャンパスでの研修後、米国カリフォルニア州「サンノゼ州立大学 I-Gateways」で実施される起業家やベンチャーキャピタルの方々の講義およびスタンフォード大学やハイテク企業 (Google・Apple等) へのフィールドトリップに参加する、工学系学生向けの5週間の短期留学プログラム (留学は2週間) です。アントレプレナーシップ (起業家精神) の実践に触れ、イノベーションが起こる仕組みをシリコンバレーで学ぶことができます。留学後は学内において仮想起業ワークショップ (ZTO) も実施します。

ELEP留学体験談

留学生
サンノゼ州立大学 (アメリカ)
工学部 電気情報工学科 2年
広島大学附属福山高校 (広島県) 出身
齋藤 大和さん

より広い視点で物事を捉える必要性を実感

最も印象に残ったことは、スタンフォード大学で現地の学生と交流した経験です。奨学金制度を活用して進学しているベテラン人など、世界中から多様な背景を持つ学生が集まっていることを感じました。自分から見知らぬ学生に英語で話しかけても丁寧に話してくれたことも印象的で、言語に対する不安よりもまず行動することの大切さを実感しました。今回の留学体験は、今後の学びや進路を考える上で大きく役立つと感じています。現地で多様な背景を持つ学生と交流したことで、自分の視野がまた広がっていることに気づき、より広い視点で物事を捉える必要性を実感しました。

Q²PEC (キューベック)

Qshu-Queensland Program for English Communication



オーストラリア、ブリスベンにあるクイーンズランド大学に附属しているUQ-Collegeにおいて世界各国からの留学生に混じって英語研修、ならびにクイーンズランド大学の工学系特別講義や研究室訪問を体験できる5週間の短期プログラムです。実践的な英語力を向上させるとともに、グローバルマインドの涵養や長期間の学位留学に向けたモチベーションアップも目指せます。

Q²PEC留学体験談

留学生
クイーンズランド大学 (オーストラリア)
工学部 旧群 2年
真珠丘高等学校 (福岡県) 出身
八波 まおさん

人とのつながりと挑戦が広がった将来の可能性

留学前に日本にきていたオーストラリアの大学生と現地で再会し、英語で過ごす日々は、自分の英語力を試し、伸ばす貴重な機会となりました。大学のサークル活動や地域のイベント、ボランティアに積極的に参加。自分で調べよう気を出して行動した経験が自信へと繋がっています。普段の生活では触れることのない多様な価値観を持つ人々と関わることで、視野が広がりました。自分と世界を感じることができました。新たなつながりや仲間に出会え、自分から行動し挑戦する姿勢が身についたことで、将来の可能性がさらに広がったと感じています。

九州大学工学部の海外留学パンフレット2026

世界で活躍するエンジニアを目指すための留学プログラムやサポート体制、体験談を紹介しています。



学科で実施している留学プログラム等

電気情報工学科	日米大学パートナーシップ UPWARDS for the Future (通称UPWARDS)	UPWARDSは2023年に策定した本学を含む日米11大学によるコンソーシアムで、日米企業への寄付金に基づき、未来の幹部人材の育成等に取組んでいます。 留学生: アメリカ、オランダ、電気情報工学科、システム、期間: 1週間、参加人数: 55名
化学工学科	学術交流イベント	上海大学、コンシン大学、チュウロンシン大学、九州大学の化学工学科でSKYシンポジウムという学術交流イベントを毎年行っています。
地球資源システム工学科	地球資源システム工学国際インターンシップ (選抜授業科目) DDP (ダブルディグリープログラム) 国際フィールド調査	留学生: 東南アジア (マレーシア、インドネシア、フィリピン、タイ、カンボジア) などの、国・大学・研究機関等 対象学年: 3年次、期間: 1週間、参加人数: 受け入れ先国に10名 バトン工科大学、ガジマタ大学 (インドネシア) とのダブルディグリープログラム。 3年間で9人と対象大学との修士受入れを確保。 九州大学・10海外大学・10留学機関・大学院員共同賛助・10留学機関における留学プログラム (必修科目)。 10・2017年度の期間、海外の大学や岡山、研究機関等の派遣での研修を通じた、視点を持った、国際資源人材を育成する。
土木工学科	DDP (ダブルディグリープログラム)	国立台湾大学 (National Taiwan University) とのダブルディグリープログラム。 3年間で9人とNTUとの修士受入れを確保。
建築学科	Campus Asia Program DDP (ダブルディグリープログラム) Campus Asia Program JDP (ジョイントディグリープログラム) AUSMIP (Architecture and Urban Student Mobility International Program) LSPA (Language for Specific Purposes, Architecture Program)	留学生: 中国 (同済大学)、韓国 (釜山大学)、シンガポールの国立大学 対象学年: 学部生、大学院生 (修士課程、博士後期課程) 期間: 短期 (1週間) 1週間・2週間・長期 (1プログラムは半年~1年間) 参加人数: プログラムによって数値~10名程度 留学生: 韓国 (釜山大学) 対象学年: 大学院生 (博士後期課程) 期間: 在学期間 (派遣とオンラインを併用したハイブリッド留学、実地研修は1年~1年1学期) 参加人数: 数人 留学生: フランス (パリ・ラビリエール建築大学)、ポルトガル (リスボン大学)、ベルギー (ルーヴァン大学)、ドイツ (デュッセルドルフ工科大学)、アメリカ (ペンシルベニア大学) 対象学年: 大学院生 (修士課程) 期間: 9か月間 (10月~翌6月) 参加人数: 5名程度 留学生: アメリカ (テキサスA&M大学) または ヴージニア理工学大学 (ワシントン分校 WAAC) 対象学年: 学部生 / 1か月間、大学院生 / 3か月~1年 参加人数: 数名

CIRCLE (創造工房)

「創造工房」は、学生が自由な発想・創意・工夫を凝らしてオリジナリティあふれる機械を製作するための施設です。他の大学にはないユニークなワークショップとして、工学部の全面的支援のもとで運営されています。

現在は「PLANET-Q」、「鳥人間チーム」、「ロボコン」、「ヒューマノイド」、「ロボット技術研究会」の5チームが活動しています。各チームの成果は九大祭や年度末の成果発表会などで公開されます。また鳥人間コンテスト、NHKのロボコン、ROBO-ONE、などのコンテストでも多くの実績を残しています。

※令和6年度卒業式にて「鳥人間チーム」、「PLANET-Q」が九州大学課外活動の振興へ寄与した優秀団体として表彰されました。

鳥人間チーム



人力飛行機で飛距離を競う「鳥人間コンテスト」での優勝を狙い、滑空機を製作しています。空力・構造の設計や桁 (スパー) 焼き作業など、40年以上続く伝統の技術と新しいアイデアを融合させながら、日々創意工夫を凝らして活動しています。NC熟練やプライスといった加工機を自在に使いこなし、自らの手で創作した機体のフライトは、製作者にとって生涯忘れ得ぬ経験となるはずです。

- 鳥人間コンテスト2024 第3位
- 鳥人間コンテスト2023 第15位
- 鳥人間コンテスト2022 第9位

ヒューマノイドプロジェクト



二足歩行ロボット格闘競技大会であるROBO-ONEでの優勝を目指して日々活動に取り組んでいます。基本的にロボットの設計・加工・制御を一から行っており、ロボットの構造、設計、回路、プログラミングといった様々な分野の知識を身に付けることができるのが特徴です。普段の大学生活では決してできない貴重な体験ができるサークルです。

- 2025年2月 第42回ヒューマノイドカップ Light級準優勝
- 2024年3月 第26回ROBO-ONE Light ベスト8
- 2024年2月 第41回ヒューマノイドカップ Light級優勝、準優勝、ヘビー級優勝

PLANET-Q



「放課後は、宇宙開発」をモットーに、宇宙開発に関する技術開発や教育活動を行っています。プロジェクトには安価かつ安全性の高いハイブリッドロケット、成層圏でミッションを行うスペースバレーン、自律制御で走行するCanSat、自由度が高いモデルロケットなどがあり、学年や学部の枠を超え一丸となって活動しています。

- 2026年3月 種子島ロケットコンテスト インテリジェント部門 プロダクト賞受賞
- 2026年3月 日本モンゴル共同気球実験 スペースバレーンの放球・回収に成功
- 2026年3月 内之浦共同打上実験 ハイブリッドロケット1機の打ち上げに成功
- 2025年8月 能代宇宙イベント ハイブリッドロケット1機の打ち上げに成功 (IST賞受賞)

ロボコンチームKURT



九州大学の有志学生によるロボット競技チームです。メインとなる活動はロボットの制作で、設計から制御まですべて自分たちで行います。例年5月から6月に開催される「NHK学生ロボコン」への出場をはじめ、夏休みには「九州夏ロボコン」を主催しています。秋の「サイエンスワールド」への出展も含め、メンバー一丸でロボットの制作を行っています。

- 2026年 NHK学生ロボコン2026 本戦出場 東京エレクトロニック特別賞受賞
- 2025年 第15回キャパロボバトルコンテスト2025 ベスト8
- 2025年 九州夏ロボコン2025 運営及び出場

ロボット技術研究会



特定のテーマに縛られず、自由にものづくりを楽しむサークルです。初心者から経験者まで、誰もが自分のペースで活動できます。大会出場を目指すチームもあれば、仲間と協力して独創的なアイデアの実現に挑戦する人も。個性豊かなメンバーが集まる賑やかな環境で、あなたの「つくりたい」という情熱を形にできます。ものづくりの楽しさ就在这里にあります。

- 2025年6月 NHK番組「魔改造の夜」出場
- 2025年5月 2025年度チャレンジ&クリエイション (C&C) に「録の触覚を用いた匂いセンサの開発プロジェクト」が採択
- 2024年9月 キャパロボバトルコンテスト 出場 審査員特別賞受賞

2027年度入試（2026年度実施）より九州大学工学部入試制度が変わります。



何が変わるの？

1. 一般選抜（後期日程）

募集単位を学科群から学科に変更し、「応用化学科」「化学工学科」「地球資源システム工学科」のみ実施します。なお、前期日程は学科群単位での実施に変更ありません。

2. 総合型選抜

「機械工学科」について、募集を停止します。「地球資源システム工学科」について、第2次選抜における大学入学共通テストの教科・科目を変更します。

3. 学校推薦型選抜

「融合基礎工学科」「機械工学科」「量子物理工学科」について、大学入学共通テストを課す選抜を新たに導入します。

4. 女子枠入試

「材料工学科」「融合基礎工学科」について総合型選抜にて新たに導入します。「機械工学科」「量子物理工学科」について、学校推薦型選抜にて新たに導入します。

5. 次世代研究者発掘入試

2027年度から本学において「次世代博士人材育成コース」を設置することにもない、「電気情報工学科」「材料工学科」「応用化学科」「化学工学科」「融合基礎工学科」「地球資源システム工学科」について、総合型選抜にて新たに導入します。



なぜ変えるの？

● 文部科学省は、令和5年度大学入学選抜実施要項（令和4年6月3日付け4文科高第302号文部科学省高等教育局長通知）にて、各大学の判断により一般選抜に加えて多様な背景を持つ人を対象とした入試も行うことが望ましいとしています。 ※たとえば「理工系分野における女子等」など

● 本学工学部においても、多様な背景を持つ生徒を対象とした選抜を行うために入試制度の見直しを行い、新しい入試枠を導入します。

● 具体的には、これまで後期日程で行っていた学科群単位の募集を学科ごとに変更し、一部の学科の後期募集を停止。その分の募集人員を、多様な人材を対象とした新しい入試枠に振り分ける予定です。

スケジュール	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合型選抜Ⅰ	● 第一次	● 第二次				
総合型選抜Ⅱ			● 第一次	● 第二次		
学校推薦型選抜			● 第一次	● 第二次		
一般選抜					● 前期	● 後期

詳細情報

各入学者選抜

（九州大学HP入試情報→
入学者選抜方法の変更について）



次世代博士人材育成コース

（九州大学未来人材育成機構HP）



※ 入学者選抜方法の変更に関する情報は本学Websiteで随時お知らせいたします。



女子枠導入の理由

- 女性の理工系進学をめぐる社会的背景として、文部科学省の「教育未来創造会議（第一次提言）」では、日本の理工系学部に進学する女子の割合が国際的に低いことが問題視され、改善の必要性があると指摘されています。
- 企業や経済界からも、女性の理工系人材をもっと増やしていくことが強く求められており、経団連は「女性理工系人材の裾野拡大は急務」と提言しています。
- 内閣府の調査（2023年10月「共同参画」）によると、全国の工学部の女子割合は約15.8%、理工学部では27.8%に対し、本学工学部では5年平均で約11%にとどまっています。
- 工学部ではこれまで「パンフレットの作成」や「地域の高校への広報活動」、「教員・学生による高校訪問」、「女子生徒向け講演会」など、女子の理工系進学を後押しする取り組みを続けてきています。しかし、女子学生の割合は低い状況にあるため、女子枠を導入することにしました。

次世代研究者発掘入試導入の理由

- 日本では、博士号を持つ高度専門人材が諸外国と比べて少ないことが、研究力やイノベーション、国際競争力の低下につながっていると言われています。
- この課題を解決するために、九州大学では2027年4月から「次世代博士人材育成コース」を新設し、高校生の段階から博士課程修了までを一貫して支援・育成します。将来、日本の科学技術にリードする人材を育てることが目的です。
- このコースの入り口として、「次世代研究者発掘入試」を新たに導入します。→ 高校生の段階で入試を受けて入学するか、入学後に実施される編入試験（学部1～3年生対象）に合格することで参加できます。
- 「次世代研究者発掘入試」は、高校生時代の研究体験や課題解決力、研究への意欲などを評価する、新しいタイプの総合型選抜入試です。

九州大学工学部をもっと知りたい受験生へ

まずは工学部Webサイトへ

工学部Webサイト



- 研究室紹介
- 工学部短期留学プログラム
- 工学部学科紹介
- 工学府専攻紹介

特 設 サ イ ト

受験生向け情報



- 座談会
- 学生の1日
- 就職データ
- 入試情報
- 学科群紹介
- 創造工房
- キャンパス情報

オープンキャンパス



- オンラインコンテンツ（学科動画等）
- リケジョ講演会アーカイブ配信
- 360度カメラで撮影！施設紹介動画
- 工学部Q&A

あなたにピッタリの学科はどれ？

FIND



● 学科診断

興味があるキーワードを選ぶと
オススメの学科を教えてください。



YouTube九大工学部チャンネル



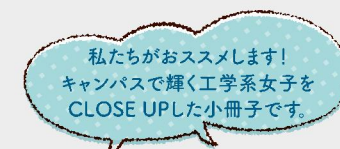
九大工学部Instagram



[VOICES of WOMEN in ENGINEERING]

工学系女子を特集した冊子です。

在学生やOGのインタビュー・女性教員からのメッセージ、1日のスケジュール、伊都キャンパスの紹介などを掲載しています。



大学院工学府
応用化学専攻 修士課程1年
辻 美月さん
筑紫丘高等学校（福岡県）出身



大学院工学府
航空宇宙工学専攻 修士課程1年
河野 結衣さん
雙葉高等学校（福岡県）出身



電子版はこちらから



受験に関するお問い合わせ

九州大学工学部等教務課教務係
〒819-0395 福岡市西区元岡 744 番地
Tel : 092-802-2723 / 092-802-2724
E-mail : koggakus@jimu.kyushu-u.ac.jp

データで見る 九州大学 工学部

(2026.5.1現在)

工学部学生数



3,336人

工学部の女子学生数.....423人

九州大学の学生総数...11,632人

工学部教員数



281人

九州大学の教員総数

2,493人

大学院進学率



86.2%

就職率

大学院工学府



97.3%

*留学生を含む

就職率

大学院システム情報科学府



90.2%

*留学生を含む

伊都キャンパス敷地面積

みずほPayPayドーム福岡 = 69,130m²

 × 39.3 個

伊都キャンパスエリア
2,717,130m²

単一キャンパスでは日本最大級

延床面積 (関連施設を含む)

7,563万m²

海外から



留学生数

144人

留学生の国・地域数

33カ国

海外へ



留学する学生の数
2025年

146人



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

九州大学工学部
2026 CAMPUS GUIDE

発行 / 令和8年7月
編集・発行者 / 九州大学工学部



伊都キャンパス

〒819-0395 福岡市西区元岡744 TEL 092-802-2728

筑紫キャンパス

〒816-8580 福岡県春日市春日公園6-1